

澤庵書稿 坤

内閣文庫	
番號	和 34847
冊數	2 ( 2 )
函號	204 238

内閣文庫	
架	二冊
號	三四七
類	和書

澤庵書

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

G Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak



澤菴書翰







又とあらわす古き名をさすは代後とす  
列々々々々々々々

五月六日の沙汰を、  
故中町方す  
河玉室五光  
徳原内  
とす  
五光  
一と

阿仏のくさくさりよ  
し殊也

教免  
一孤  
月  
海  
お名

上松  
惟  
中山  
あつた

昭るるあきと

熊の川にしがらみ山をめぐりての山を秋の

三七年二月廿四日辰刻の龍を一言あしとるる

龍を龍とて一となくし堀子好入人内外を七年

以て之を龍とてし堀子好入人内外を七年

はるるあきと山をめぐりての山を秋の

由りてしとるるあきと山をめぐりての山を秋の

阿又日光の末代迄の山をめぐりての山を秋の

物に於て上りてくるにコサリニテ千石の山に日光  
阿又日光の末代迄の山をめぐりての山を秋の  
堀子好入人内外を七年  
以て之を龍とてし堀子好入人内外を七年  
はるるあきと山をめぐりての山を秋の  
由りてしとるるあきと山をめぐりての山を秋の  
阿又日光の末代迄の山をめぐりての山を秋の









くちをあらわさくしける物  
くちをあらわさくしける物  
何れもあらわさくしける物

つれづれにあらわさくしける物  
みづみづをあらわさくしける物

さねをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物

愚老若薄のうた

あつをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物

小車にのりてゆく時  
あつをあらわさくしける物

あつをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物

あつをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物

あつをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物

あつをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物  
あつをあらわさくしける物

是非上の付一と蓮の色しある友之跡

涼意臨江得

冥

蓮の白の如く池の中を

的

月とともにあまのうらみはあはれ

秋所

五十の侍紅毛を臨江の面と申しんば

の上のく

公才根の如く笑の恥満の色能く其の如く及

後人上下如く一年の如く寂しく

二所とらるる七十の暇ある中を之れと

とて根の如く山を直にたふしあはれと

山をたふしとて根の如く山を直にたふし

ふも根の如く山を直にたふし

るも根の如く山を直にたふし

たの如く根の如く山を直にたふし

法戸の如く山を直にたふし

あも根の如く山を直にたふし





一 綱一  
一 先ずしをわきまぬし之節に事行し之を扱ひ  
子殺色は為すに極ありし一事感成りて  
家より極之極に少少なりて親之和  
に流し之為す就而可為なり之れを  
或とありし之節に村属と見えし事  
不之極し村属に少位國と見えし  
左國一少ありし方よりこの  
自之少ありし

一 綱一  
一 先ずしをわきまぬし之節に事行し之を扱ひ  
子殺色は為すに極ありし一事感成りて  
家より極之極に少少なりて親之和  
に流し之為す就而可為なり之れを  
或とありし之節に村属と見えし事  
不之極し村属に少位國と見えし  
左國一少ありし方よりこの  
自之少ありし

二百五十年分列の如くして一箇の中  
より一箇の子を以てするは一箇の如く  
如我の如くは其の如くして一箇の如く  
可くもふは其の如くして一箇の如く  
一長を以てして其の如くして一箇の如く  
因る中より其の如くして一箇の如く  
其の如くして其の如くして一箇の如く  
礼の如くして其の如くして一箇の如く

乙君にして其の如くして一箇の如く  
以中より其の如くして一箇の如く  
一箇の如くして其の如くして一箇の如く  
其の如くして其の如くして一箇の如く  
其の如くして其の如くして一箇の如く

一箇の如くして其の如くして一箇の如く  
其の如くして其の如くして一箇の如く  
其の如くして其の如くして一箇の如く  
其の如くして其の如くして一箇の如く  
其の如くして其の如くして一箇の如く





得る事し思われは何れ思ふ事し  
思ふ事故ありて改事よあれは  
多におつまつたぐり袖とさし  
永事迄か中流をあらまひし  
折るつちひまじよとそめ  
一所幸事 啓し 當事 御し 事  
は 飛列 一 事 御し 事

二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
しる 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事  
二 事 二 事 御し 事 二 事 御し 事



そと好む事あり先頃より古縁結ぶ事  
し中より何れ改む事あり其に限らずし  
之何れ止む事あり中縁交え事あり  
私曲在事あり事成事終る事あり  
私曲交縁成る事あり念事あり人縁あり  
定事成る事あり事成る事あり  
事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり

事あり事あり事あり事あり  
又事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり  
事あり事あり事あり事あり











ナニヨリナリ言松ふスノ面モ又ニツクロニカニ存  
明々し居上四久カ人ワモリし又夫上松か海  
ハ五六里モワリタル山小底ヨリ生動し瓦松か一色  
ノ冠をかし申日長布十ト無年あふ而も使は十人  
中モ美長地ニ果しし自志摩と後多し西  
ナルヨリナリ

一海濱州ニ當目少久民ツん是月少北去ニ早  
ハ色し海後をく少知く熱海之山道當り湯  
ノ海松子無く松多ク之傳之尖上カリノ海也  
テ之能終へんと有ハハ何のモモ松上古  
又之果し心傳多し松も松好松とアハ  
降

小まう上日  
一 小出古松尚後

幸海

一  
子之種もくもあきく  
建武所あかあきく  
町高あ牛推上何  
そるす方懐地りり  
あかあきく  
あし少久実海もあ  
一ツもあきく  
中東のし四ツ  
ハ程ふさくも  
級

一  
そる松ある山  
下  
とこ茶山海  
し











川出和列刺史

研 考

久し持病める一少くもするもの快氣

九月 考 拙記

秋の初より片々として重の祀

長月の名は何よりなせ

先月十九日、夜に海、物多作、多ありし  
り、元少持病を、条結の村、いり、  
多し、少使、此中、名、礼、重、  
多し、少、少、少、少、少、少、少、少、  
少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、  
少、少、少、少、少、少、少、少、少、少、

有、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、  
十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、  
二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、  
三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、  
四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、  
五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、  
六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、  
七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、  
八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、  
九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

之を以て... 用... 友... 内... 一...

山... 友... 内...

山... 友... 内...

之... 用... 友... 内... 一... 山... 友... 内...































































~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

吉平 公

西海下

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

小山 吉平 殿

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま

~~~~~し 別ら びら ~~~~~し 二白の 存ま











ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片  
 力もつゝはなほしなほの事なりしはれ一と  
 候の事ゆゑはなほの事なりしはれ一と  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片  
 ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片  
 ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片



ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片  
 ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片  
 ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片  
 ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片  
 ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片  
 ちんちんしと申候あやしき事  
 ありしにふたつは地味一はぬん山内入云片

















九月廿三日  
存湯丸  
結核  
御  
被  
之

大書  
下





